

## あの人に聞いてみた！②

## あの“ThirdBrainFx”の開発会社！

# 「ThirdBrain SA」 インタビュー

## 大人気ストラテジーThirdBrainFxを開発した「ThirdBrainSA」が 当社のインタビューに応じていただきました。必見です！

### まずは、御社のご紹介を お願いいたします。

「ThirdBrainFx」を主力製品とする「ThirdBrain SA」は、2012年3月に創設されたばかりの会社です。

当社には、トレード部門と情報管理部門、翻訳部門の3つの部門があり、それぞれが『Clever & Smart』をスローガンに利益をあげられる自動売買プログラムの開発にあたっています。

会社の創業者は、当社のCEOで翻訳部門と情報管理部門を担当する「T. Zhyvylo」(我が社の理念『Clever & Smart』も彼女が定めたものです。)と、当社のCTOで、ThirdBrainFxの開発や運用保守などトレード部門を担当する「P.Duvivier」の2名になります。

### ThirdBrainFxは当社で 非常に長い間人気ランキングの 上位にランクインしています。 その点について率直な感想を お聞かせいただけますか？

ThirdBrainFxは、中長期で投資を行うので、長い間、皆さんから支持されていることについては特に驚きはありません。私たちはこの結果を得るために努力してきたのですから。

### ThirdBrainFxのコンセプトや 特長を教えてくださいませんか？

ThirdBrainFxは、「アレキサンダー

エルダー博士」の著書「投資苑」に書かれている「3段階スクリーン・トレーディング・システム」の影響を色濃く受けています。

コンセプトは単純で、『トレードの核心は時間軸(足)にある』ということです。まず、日足で主要なトレンドを把握し、1時間足でオシレータ系の指標を使い、日足のトレンドが1時間足上でも現れる瞬間を確かめようとしています。

そして、実勢価格から最適なレジスタンスやサポートを計算し、買いの逆指値もしくは売りの逆指値を入れエントリーポイントを確かめます。

私たちは、ストラテジーの勝率には意味が無いと思っています。勝率90～95%のストラテジーを提供することもできますが、お客様は勝率よりも最終的に利益を得たいと思っているわけですよ。

それから、統計学上、長く使い続けられる良いストラテジーというのは、ストップロスや予め決めておいて取引することであり、そうすることで大きな収益が得られるものと考えています。そういった考えから利益確定と損失確定の最適な値を計算し、その結果をThirdBrainに組み入れていて、現在は、テイクプロフィット(利益確定)を280pipsに、ストップロス(損失確定)を-160pipsにしています。

### なぜ、そのような特長やロジック を組み入れたのでしょうか？

人間は複雑で多岐にわたる経済的な要因を同時に読み解くことは出来ない

と考えています。

Geneva大学のMBAの学生おこなった最近の研究では、「多くのトレーダーは合理的ではない判断や分析に基づいて投資をおこなっているが、その内のいくつかは成功している」という結果が発表されています。

その一方で、優秀なプログラマーや数学者がいる企業では、莫大なお金かけて非常に複雑なストラテジーを開発していますが、それらのストラテジーは良い結果を得られていなかったり、高回転取引を行うストラテジーであったりします。

ここから、人間は不規則で不安定に見えるチャートから、隠れた規則を無意識に感じとり理解することができるということが伺い知れます。

ThirdBrainFxは、大きく変動している通貨ペアを対象にして、不規則なチャートの中から規則を見つけ出し、それらのチャートの中から、値動きが大きいほど収益への期待値が高いということがわかっています。

難しいのは、どのタイミングでエントリーをおこなうかの計算と、その場合に買いの逆指値注文や売りの逆指値注文をどう入れるかですが、この点については内緒。企業秘密です。

### 開発の経緯や費やした年月 などを教えてくださいませんか？

ThirdBrainFxは運用を開始してから3年になります。

私たちはマーケットの変化によりストラ

テジーのパフォーマンスが悪くなることを避けるため、全てのストラテジーにおいて開発の段階からデータを収集し、今でも常にテストをおこない続けています。

ThirdBrainFxが良いパフォーマンスを提供し続けている間でも、それを本当に維持しつづけられるのかを確認するために重要な指標に関しては注意深く監視をしています。

また、ThirdBrainFxはマーケットの状況が悪くなると自分自身でトレードを停止します。

なぜなら、ThirdBrainFxには、マーケット状況からエントリーの可否を判断するロジックが組み込まれているからです。

### 実際の開発を始めてからは どのような所に苦労 されたのでしょうか？

ストップロスやテイクプロフィットを決める条件となる注文の値幅を計算することが非常に難しかったです。

これらの注文を正確に入れるためには沢山の試行錯誤が必要でしたし、ここがストラテジーの要といえますから。

テイクプロフィットとストップロスの比率を見極めるのは非常に難しいということは承知していましたが、ここがとて大変でした。

### ThirdBrainFxに関わらず、 開発のアイデアは、どのような ところから得られて いるのでしょうか？

まず、実際に取引している方たちとの会話から一番アイデアをもらっています。感情をコントロールすることの重要性や真のリスク管理について知ることができますから、これは毎月実施しています。

それから、会話で得たアイデアを実装するための努力もおこないますが、これ

は出来る時、出来ない時があります。

その次に、(運用)テストからアイデアを得ています。テストはこれでもかというくらい様々な取引方法で行っています。実際に、私たちは42の主要なストラテジーを約50通貨ペア、計2,000以上のストラテジーのテストを常時おこなっているということです。過去8ヶ月で400のストラテジーは良い結果が出ましたが、その他は失敗に終わっており、現在は失敗した原因を究明しているところです。

### ThirdBrainFx運用時の ポイントを教えてください。

ThirdBrainFxは、その通貨の1日の値幅(1日の高値と安値の差)に直接影響を受けます。

1日の値幅が小さくなっていけば、パフォーマンスも時間が経つにつれ小さくなります。1日の値幅が小さくなるレンジ相場が続けば、取引をしなかったり、負けてしまうこともあります。

私たちは技術的な部分を提供しているので、お客様に対して的確なアドバイスのわかるかわかりませんが、リスク管理の観点でアドバイスするとすれば、ThirdBrainFxは最大で4つのポジションを持ち、テイクプロフィットは280pips、ストップロスは-160pipsにしていることを知ったうえで、お客様自身のリスク管理プランに従うと良いと思います。

また、2つの指標に注視してください。「プロフィットファクター」と「RAR(リスクリターン率)」の2つです。

私自身はThirdBrainFxがある通貨ペアにおいてRARが2を超えるかプロフィットファクターが2を下回った場合に運用を止めています。

これはThirdBrainFxに限らず他のストラテジーでも同じです。この2つの指標のトレンドがとても重要ですが、常にこのルールに沿うことはとても難しいと

思います。

しかし最終的に私たちが皆さんにお伝えできることとしては、皆さんにとってベストなストラテジーを選択してくださいということだけです。

### ThirdBrainFxの強み、また 弱みは何だと思われますか？

ThirdBrainFxの強みは、シンプルだということです。この単純なロジックがあれば様々なマーケット環境に対応出来ると信じています。

弱点は、マーケットが逆へ行ったときストップロスがつくまで待ち続けてしまうことです。この弱点をなくすために他のストラテジーの開発もしました。将来ThirdBrainFxはパフォーマンスを維持するためにストップロスを小さくするかもしれません。

### では、最後にお客様への メッセージをお願いします。

インヴァスト証券のお客様は、シストレを良く勉強されているように感じます。

また、数多くの貴重なご意見やご要望をいただき、大変嬉しく思っております。

私たちにとってインヴァスト証券のお客様からいただいたご意見は大変貴重で、皆さんがこれまでのマーケットで経験されたことは、今後私たちのストラテジーを改良するためのヒントとなり、そういうきっかけを与えてくれる素晴らしいものだと考えています。

インヴァスト証券のお客様には、引き続きみなさんが経験されたことをぜひ当社へお伝えいただければと思っております。私たちが皆さまにとって良いストラテジーを提供させていただくためにも、よろしくお祈りいたします。

(実施日 2012/9/14)

※掲載内容は、インタビュー回答時点の情報であり、その正確性、完全性を保証するものではなく、その売買を一切推奨するものではありません。  
※当該情報または意見に起因して発生するいかなる直接的、間接的または結果的損失についても、当社はいかなる責任も負いません。  
投資に関する判断の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。